



こうべをたれる稲穂

津山新星会議

倉持照憲

質問↓国内産米粉を使ったパンを給食に使用しないのか。遊休農地、耕作放棄地が増えていく中で、周辺部の農業振興に「特定法人貸付事業」は有効な手段ではないのか。

答弁↓米粉パンは小麦だけのパンとは製造工程が異なる。安定供給と価格の課題が克服されれば取り入れたい。農業経営基盤強化促進法の基本構想に規定していないために、この事業に取り組めない。年度内終了の耕作放棄地の全体調査の結果を踏まえ、解消計画を策定したい。耕作放棄地は基本的に地域の認定農業者や集落営農での活用などが考えられるが、担い手がない地域では企業の農業参入により、農地の保全を図ることができればと思う。関係機関の助言や指導を受けながら検討していく。

給食に国内産の米粉使用のパンを



ガラスハウス

木下健二

質問↓ガラスハウスを民間に安く買ってもらう、現在の利用料が少しアップするくらいで市民が利用できるか。

答弁↓県有施設であり、県が判断することになる。民間が買い取り、運営する場合、採算が合う運営が難しいのではないかと推測している。質問↓民間の発想であれば、いろいろな営業手法、例えばバスで送迎するとか、人を集める方法があるのでないか。答弁↓ガラスハウスの利用について、年間利用者が約十五万人という状況である。今後の課題はあるが、現在、あくまで譲渡に対する基本的姿勢のもとに、県に対して県有施設の見直し案の修正を求め、県施設として維持していただくよう要望を強く求めている。

ガラスハウスについて

議長室だより



本市の財政も厳しさを増してきておりますが、市民皆さまの要望をしっかり受け止め、お一人おひとりが幸せを実感し、津山に住んでいてよかったと思われれるまちづくりを進めなければならないと思います。私ども市議会は市民の皆さまからの信頼と協力が得られるように精進することは勿論のこと、常に市民とともに歩む議会として情報公開を含めて、市民の負託に応えられる開かれた議会を目指し、議会運営と議会改革に努力をして参りたいと考えます。今後とも、皆さまのご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



クリーンセンター建設予定地の市内・領家地区

新風会 森岡和雄

質問↓クリーンセンター建設予定地の領家地区の一部住民が反対の意思表示をしている。どうしたら住民の理解が得られ、施設が完成するのか。市長、副市長の考え

市長↓現在、領家町内会と建設に向けて協議を行いつつ、事業の推進に努めている。これまで領家町内会の役員の方々と連携しながら地域住民に対して理解いただけるよう誠心誠意努力してきたものと考えている。同町内会九十八戸のうち、三戸の住民が建設反対運動をしているのは誠に残念。町内会とも連携しながら粘り強く対応していきたい。副市長↓事業の推進については、地域住民のご理解、ご協力が不可欠。専門家を交えた説明会を開催し、住民の皆さんの不安解消に努めたい。

反対住民の理解を得るためにはどうすれば